

「藤村文学」を語り、読み、歌う

講師

田中欣一

溢るるものこそすべてである

近代日本浪漫主義の代表詩人であり、のちに小説家、自然主義文学作家として大成した島崎藤村の世界を学びます。

「遂に、新しき^{しいか}詩歌の時は来たりぬ。そはうつくしき^{あけほの}曙のごとくなりき。」明治維新、幕藩体制の崩壊、とうとうと打ち寄せる文明開化の潮流、こうした時代背景のなか木曾の山村から少年時に上京し、時代をリードし、新しい文学世界を切り開き、天下の青年たちをして「日本に初めて文学が生れた！」と叫ばせ、狂喜させた力とは何だったのか。

信州が生んだ不世出の文豪の足跡をたずねます。
やさしく深く、楽しく……。

「語る」を田中欣一が、「読む」を野口恭子が、「歌う」を宮田満珠子が担当します。

日時：6月11日（金）・7月9日（金）

午前10時～12時

場所：ふれあいセンター2階 学習室

受講料：各回 500円

お申込：下記の申込書を教育委員会内公民館へ持参か

公民館まで電話、FAXでお申込みください

お問合せ：白馬村公民館 電話85-0726 FAX85-0723

【聞こえ】に不安のある方のために要約筆記がつきます。



✕ 切り取り線 ✕

文学講座「島崎藤村」講座参加申込書（白馬村公民館）

名前

住所

連絡先